



月刊

# 社協だより

平成29年  
12月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

## 新春文化講演会「案内

### これからの“狩留家”と“医療・介護のかかわり方”を考える

来春一月六日（土）十時から毎年恒例になった「狩留家新春文化講演会」を開催します。

新春文化講演会では「これからの“狩留家”と“医療・介護のかかわり方”を考える」という命題を掲げ、安佐市民病院の副院長土手慶五先生に「本人と長男と嫁からはじめる縁起でもない“終活”の話」という演題で、また、医療ソーシャルワーカー宗田知子先生には医療・福祉関係のご講演を頂きます。

講演を通して人間らしい最新の過ごし方、生かされ方（行かされ方）を学び（感じ取り）その為の医療・介護やそれを支える狩留家の仕組みはどうあるべきかを、小グループで考え合う会にしよう

と企画しました。出来るだけ多くのお医者さんやソーシャルワーカー・ケアマネージャーさん等にもご参加いただき、専門家の意見と住民の悩みや質問をぶつつけ

上に高齢者を支えている家族の方々には是非ご参加いただきたいとご案内します。いつもは他所におられる家族の方もこそぞってご参加頂きたいです。

今からの超高齢化社会の到来に向けて、施設の整っていない狩留家でも、人として尊厳を持った最後の時を過ごすためには、どのような心構えや医療・介護・福祉が必要であるかを皆で考える時間としましょう。（会長記）

## めくめく会・サロン交流会 開催

### 保育園児と楽しいひととき

狩留家社協では、十二月一日、各種サロンで活動している人と、狩留家保育園児の、交流会をもちました。当日は、先生



と園児（十五人）が元氣よく集会所に来てくれました。そして、演劇「オズの魔法使い」と「器楽演奏」を発表してくれました。演劇では、長いせりふもすらすらと感情を込めて語り、見ていた私達に感心と感動を与えました。器楽演奏では、先生の指揮を一生懸命見て集中し、演奏するかわい

い姿は、とても印象に残るものでした。その後園児さんによる、私達への肩たたきがあり、小さい手で一生懸命たたいてく

## 理事会報告 議題

- 一、狩留家保育園児としめ縄づくりについて（十二月二十五日）
- 二、新春文化講演会について（一月六日）
- 三、生活援助員研修について
- 四、柚川さんの空家活用について

の交流会を終えました。その後サロンのメンバーは、懇親の昼食会を持ち、ビンゴゲームをして楽しい一日を過ごしました。

## 救命処置（AED）研修

十一月二十六日（日）、十三時三十分から十六時まで狩留家集会所で、西区消防署から講師を招き、救命処置の研修会が行われました。

始めに、テレビで映像を見ながら応急手当等について解り易く説明して頂きました。救急車を頼んで到着まで平均九分かかるそうです。到着するまで居合わせた人が適切な救命処置をした場合、命が助かる可能性が高くなることを学びました。その後一人ひとり人体模型を使って胸骨圧迫とAEDを使って

## 愛の灯

柏谷さんより金一封をいただきました。ありがとうございました。

十一月資源ごみ売上 一万五千円